

1. 研究課題名：ベンゼン汚染土壌・地下水の嫌氣的生物浄化技術の開発

2. 研究代表者氏名及び所属： 栗栖 太  
(東京大学大学院工学系研究科)



3. 研究実施期間： 平成 23～24 年度

4. 研究の趣旨・概要

ベンゼンによる地下水・土壌汚染のうち、特に低濃度広範囲の汚染には微生物を用いた浄化が有効であり、さらに酸素非存在下(=嫌氣的条件下)での分解が可能となれば、より低コスト・低エネルギーである。我々は、ベンゼン汚染土壌・地下水の嫌氣的浄化技術の開発を目指した研究を行う。研究代表者らがこれまでに獲得した嫌氣ベンゼン分解微生物群を活用し、ベンゼン汚染土壌において微生物によるベンゼン分解を促進する条件を見出す。さらに、ベンゼン分解微生物の純粋分離にも挑戦し、分離の過程においてもベンゼン分解微生物の挙動を把握する。本研究成果により、汚染浄化技術として実用化研究開発へとつなげられるものにする。

5. 研究項目及び実施体制

①ベンゼン汚染土壌・地下水の嫌氣的生物浄化技術の開発 (東京大学)

## 6. 研究のイメージ

